

大人が変われば子どもも変わる



尾花沢市 青少年育成市民会議 会長 池田正義

令和六年度の青少年育成市民会議の事業は、市民の皆様を始め、多くの方々のご理解とご協力により終えることができました。心より感謝申し上げます。事業を通して得られた成果と課題は、来年度の事業の充実に向けて生かしてまいります。

さて、文部科学省のホームページに、「子どもの育ちの現状と背景」が、次のように載っていました。

子どもの育ちの現状(課題)

基本的な生活習慣や態度が身につけていない・他者とのかわり方が苦手・自制心や耐性規範意識が育っていない・運動能力が低下している・小学校一年生が学習に集中できない・教員の話が聞けず授業が成立しないもの、その情報は断片的で受け身的なものも多く、学びに対する意欲や関心が低い

子どもの育ちを巡る環境の変化

プラス体験やマイナス体験も含め多様な体験が不足している・子どもの生活空間の中に自然や広場などといった遊び場が少ない・ゲームなど室内に偏った体験を余儀なくされている・地域社会の大人が地域の子どもの育ちとのかわりが減少している

これらの課題解決に向けて、どう取り組んでいけばいいのでしょうか。先日、村山市で開催されました青少年健全育成県民大会において、特定非営利活動法人クリエイティブがしね理事の三浦通夫氏から、遊びによって非認知能力を育む「遊び」として

育つ環境の歪みの解消を図る「共育」について実践発表を聞く機会がありました。自分の好きな遊びに熱中することで自尊心や自己有用感、意欲という前向きな感情が高められます。また、遊びを通して力を合わせたり考えを出し合ったりするなど多くの学びをします。遊びにより将来幸せに生きるための力を身につけていくのです。子どもの「こころ」と「人間関係」を育てるのは遊びであるということです。

またある時、「九十二歳の現役保育士伝えたい親子で幸せになる子育て」という本を手に入れました。そこには、「子どもの発達」に重要であるにもかかわらず見落とされがちなのが、情緒、自主性、社会性の発達や知識の獲得など「目に見えない発達(非認知能力)」だとありました。これらは、情緒の発達→自主性の発達→社会性の発達→知識の獲得→リミットのように積み上げられていきます。大切な土台となる情緒は親の抱っこ、自主性は子どもがやりたいことをやりたいだけさせてあげること、社会性は子ども同士のやり取りにより発達します。そして、知識の獲得には思いっきり遊ぶということが最高の学びとなり、主体性、創造性、社会性、集中力、道徳心、危険予知能力は、全て遊びで育ちます。そして、これらが発達する過程で、自分のことが大切だと思える力や最後までやり抜く力、自分を律する力、感謝する力、協力する力、人の気持ちを汲み取る力などを身につけていくのです。そう考えると遊ばされるゲームなどで、これらの力を身に着けるのは難しいのではないのでしょうか。

子どもたちの課題を解決し健全な育成を図るには、大人が子どもの生きる力を信じ、子どもが本気で遊べる社会にしていかなければなりません。今こそ「大人(の意識)」が変われば子ども(の遊び)も変わるべき時ではないでしょうか。できることから...

青少年おばなごわ

第41号 編集発行 令和7年3月1日 尾花沢市青少年育成市民会議

令和6年度

尾花沢市青少年健全育成市民集会

大人と子供の夢見るチカラとも未来へ

令和6年11月10日(日)に、「大人と子供の夢見るチカラとも未来へ」をスローガンに掲げ、青少年健全育成市民集会が開催されました。当日は約100名の皆さまに参加をいただき、大変有意義な集会となりました。

集会では、青少年健全育成にご尽力された優良団体・功勞者への表彰を行い、その後、家庭・学校・地域が協働し合い、地域の子供は地域で育てることの大切さを再認識し、地域に根ざした活動の輪を広げていくことを宣言しました。

講演では、やまがた特命観光・つや姫大使 パフォーマー たつみ(辺見竜二)氏(玉野出身)をお招きし、「夢は諦めない!」と題してご講話をいただきました。軽快なトークと緊張感のあるパフォーマンスを交えた講演には、「夢を諦めないことが大切である。」という熱い思いが込められており、大人も子供も魅了されました。大道芸に魅せ



られ、独学で練習を続け、投げ銭などで得たお金で、県内の保育施設に寄附。更に努力を重ね目標だったつや姫大使に就任。そしてこれから... パフォーマー たつみの今後益々のご活躍が楽しみです。今後この集いを契機に、市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら、青少年健全育成につながる活動に取り組んでまいります。



令和6年度のいじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動に係る「いじめ防止」標語の募集で村山管内の小中及び特別支援学校145校より21,380点もの応募がありました。そのうち、尾花沢市では80点の応募があり、16点の作品を推薦しました。

令和六年度 いじめ・非行をなくそう標語 (尾花沢市推薦作品)

山形県村山地区優秀作品

その言葉 心のフィルター かけてある?

尾花沢中学校3年 柳橋 真佳

小学生の部

「えがお」がね ふえることばは 「ありがとう」

福原小学校2年 矢作 奏和

いじめきらい してもされても みてるのも 福原小学校1年 戸津 千璃

流されなない みんなでもとう 強い心 尾花沢小学校6年 東海林 暖

みとめあおう ちがう個性は 宝物 尾花沢小学校5年 菅野 彩葉

大じょうぶ? その一言で すくえるなかも 尾花沢小学校3年 大類 柚貴

くだらない 人の悪口 一抜けた 宮沢小学校5年 安野 莉望

おはようは いじめなくなる 朝のまほう 宮沢小学校3年 安野 重志

守りたい あなたの笑顔を いつまでも 玉野小学校5年 木戸 結子

いじめのない えがおいっぱい たのしいがっこう 玉野小学校1年 西塚 琉生

ノリだけで 押しはけない 送信ボタン 常盤小学校6年 永沢 由佳

はれないよ きずつく心に ばんそうこう 常盤小学校4年 近藤 陽

中学生の部

暴言の いじめ一瞬 傷一生 福原中学校3年 菅野 愛翔

周りに見て 止めて守れる いじめ事故 福原中学校2年 渡辺 翔斗

言葉遣い 傷つくことば ロックして! 尾花沢中学校2年 古郡 妃菜

どうしたの? その一言が 温かい 尾花沢中学校1年 庄司 直

青少年健全育成 優良団体紹介

宮沢翁塾 (宮沢地区) 平成9年度から毎年年末年始にかけて、千支リミネーション事業を実施している。本事業は原画を宮沢地区小学校児童から募集し、小学校入口前県道脇の田んぼに千支のイルミネーションを設置するもので、青少年の地域愛の育成と、地域の活性化に大きく貢献している。



青少年健全育成功勞者

鈴木 征司 (尾花沢地区) 平成27年から横町第1区長に就任して、交通安全を重要だと考え、以来、横町地区にて交通マナーや事故防止の指導、朝のあいさつ運動を実施している。長きにわたる通学路での立哨は、子供たちの交通安全を見守り、朝のあいさつ運動等の声掛けは、青少年の健全育成にも貢献している。



大崎 儀治 (尾花沢地区) 昭和62年より交通安全指導員として交通安全立哨を行っており、交通事故防止に努めている。37年の長きにわたり、尾花沢地区の子供たちの交通安全指導に取り組んできた功績は多大であり、子供たちの安全確保や事故防止のみならず、青少年の健全育成にも貢献している。



榎本 厚 (尾花沢地区) 昭和62年より交通安全指導員として交通安全立哨を行っており、交通事故防止に努めている。37年の長きにわたり、尾花沢地区の子供たちの交通安全指導に取り組んできた功績は多大であり、子供たちの安全確保や事故防止のみならず、青少年の健全育成にも貢献している。



大類 元 (尾花沢地区) 平成2年より交通安全指導員として交通安全立哨を行っており、交通事故防止に努めている。37年の長きにわたり、尾花沢地区の子供たちの交通安全指導に取り組んできた功績は多大であり、子供たちの安全確保や事故防止のみならず、青少年の健全育成にも貢献している。



パフォーマー たつみ 辺見 竜二 (玉野地区) 平成23年からパフォーマーとして活動していた投げ銭等を本市の全ての保育施設に寄附を行っており、その後も毎年県内(令和6年11月現在14市町村)の保育施設に寄附をしている。併せて、保育施設や学校でも公演を行っており、活動を通して青少年や観衆に対し感動と努力の大切さを伝えていく。これらの積極的な取り組みは社会的な貢献が多岐にわたる。他にもSNS等での情報発信にも力を入れており、令和5年10月から山形県より「やまがた特命観光・つや姫大使」に委嘱されるなど社会的な貢献も大きい。



玉野 **美しい文字が、美しい心をはぐくむ。**
 活動報告 青少年健全育成玉野地区市民会議 会長 尾崎 隆一

12月26日、地区の児童を対象とした文字の書き方教室が開催されました。今年度初めての取り組みで、講師は地域で指導を行っている尾崎芳桜先生と、先生の門下生となる中学生の皆さんです。参加した児童たちは丁寧に指導を受け、硬筆や毛筆の課題に挑戦したり、色紙に好きな文字や自分自身の名前をしたためたりしました。

美しい文字を書くことには、意識を集中したり心を穏やかにする効果があります。子供たちに、楽しみながらも有意義な場を設けることが出来ました。



宮沢 **拓本づくりに挑戦!!**
 活動報告 宮沢地区子供会育成連絡協議会

8月2日(金)夏休み子ども体験教室が開催されました。子どもたちはお昼に食べるカレーのジャガイモやニンジン、玉ねぎを目に染みるのを我慢しながら一口大に切った後、芭蕉清風歴史資料館に移動し、拓本づくりに挑戦。

土台となる石に和紙をのせ、字や模様添って水の染み込ませた脱脂綿で押し込み、乾いた和紙で水分を取ってから墨をのせます。その力加減が難しく苦勞していたようですが、できあがった作品は見事な掛け軸に仕上がりました。



福原 **ふくはらGAKUTO 市内の施設見学**
 活動報告

7月30日(月)15名が参加し、尾花沢警察署で交通安全(自転車)の勉強や警察官の装備品、パトカー見学をしました。消防署では緊急通報受信対応、緊急車両見学、消火活動時装備品や煙体験ハウス、消火(消火器、ポンプ車の放水)を体験しました。午後は銀山温泉街から歩き、国史跡延沢銀山遺跡(夏しらず、銀坑道など)を見学しました。日頃見ることができない市内の様々な施設・史跡を巡り体験し、夏休みの思い出の一つとなりました。(協力:尾花沢警察署、尾花沢市消防署、社会教育課文化財係)



尾花沢 **『上の畑焼絵付け体験教室』**
 活動報告 青少年育成尾花沢地区市民会議

白地にきれいな深みのある藍色が特徴的な「上の畑焼」。子どもの頃から身近に感じ、日常生活の中で使っていたため10月13日(日)サルナート研修室において「上の畑焼絵付け体験教室」が開催されました。はじめに、上の畑焼陶芸センターの松浦加奈先生から絵付けの手順を説明いただき、素焼きされた上の畑焼の皿に鉛筆で下書きを行いました。その後、2種類の太さの筆を使い分け丁寧になぞり完成。

どの作品も感性が光る素晴らしい作品が出来上がりました。



福原中学校 **福中クリーンday**
 活動報告

今年度は、生徒会によるボランティア活動の一環として、「福中クリーンday」という活動を行いました。全校生で学校の周辺地域を回り、ごみを拾う活動です。福原中学校も統合まで残り一年。これまでの感謝を込めて、地域に貢献することができました。今後も、地域とのつながりを大切に、自分たちができることを「気づき」、「考え」、「実行」していきたいと思えます。



尾花沢中学校 **ボランティア活動**
 活動報告

令和6年度の尾花沢中学校では、「ボランティアの意識を外に向けた」をテーマに生徒会JRC委員会を中心に活動してきました。大きな取り組みとしては、尾花沢祭り後の清掃ボランティア、徳良湖周辺のゴミ拾いボランティア、保育園でのボランティア活動です。

「徳良湖周辺ゴミ拾い」は、「徳良湖は、尾花沢の大切な場所なのに、ゴミが落ちていてきれいにしたい」という生徒の声によって実施が決定しました。自分たちで参加者を募り、ゴミ拾い活動を実施しました。「保育園でのお手伝い」についても、生徒の発案で実行しました。

自ら地域のためにできることを考え実行に移す主体的な取り組みに、尾花沢中のボランティア意識の高まりを感じています。



北村山高校 **北村山高校の地域連携活動**
 活動報告

本校では、今年度も地域と連携した活動を行ってきました。8月の「おばなざわ花笠まつり」では、全校生徒でパレードに参加しました。事前の練習の成果を活かし、多くの観客の皆さんの前で堂々と踊りを披露することができました。また、夏に発生した豪雨災害の被害の復旧ボランティア活動への有志参加や、国道13号線沿いの「花のかけはし植栽」に保護者を交えて参加したりなど、ボランティア活動を行いました。

本校の選択科目の一つである「ハングル入門」を活かし、小中学生を対象にした「Kポップダンス体験会」や、本校を会場に「少年少女発明クラブ」を地元企業と連携して実施するなど、地域の様々な世代の方とふれあい、一年間の活動を行ってまいりました。

今後とも、地元とのつながりを大切にして、成長していきたいと思えます。



常盤 **『第49回 尾花沢林間学校』**
 活動報告

林間学校は、土砂災害警戒情報が発令された7月豪雨の中での実施となってしまいましたが、7月26日(金)から28日(日)の3日間で内容を変更して実施することが出来ました。

子供たちが楽しみにしていた御所山での沢下りはできませんでしたが、竹笛づくりや岩魚さばき・申さし体験等、新たなメニューに目を輝かせていました。

東京都板橋区桜川地区と常盤地区の子どもたちのみならず実行委員会の委員も含めて、これまでとは違う貴重な交流が出来ました。

